

大垣市議会臨時会開かれる 笹田トヨ子議員、議会改革に向けて始動

5月12日（木）、市議会議員選挙後初めての議会が開催されます。この臨時議会では、議長、副議長、常任委員会および特別委員会の委員などが決まります。

私は、それに先立ち、今回の選挙公約である「議会改革」について、別紙のとおり新たに決まる議長に申し入れを行い、会派にも申し入れました。今回の選挙では、議会改革に対する市民の関心は4年前より高いといった手ごたえはありました。しかし、投票率は過去最低の46%。ますます市議会が市民から離れた存在になっています。何とかしなければというのが実感です。そのためにも「市民に開かれた議会」になるよう、議会改革は必要です。

ご挨拶

今回の大垣市議会議員選挙では、「いのちとくらし 安心のまちづくり」をスローガンに掲げて選挙をたたかい、多くの方から賛同をいただきました。特に高すぎる国民保険料の引き下げや、垣老を拡充して安心して医療にかかれるようにするなど、高齢者福祉への関心を強く感じました。また、今回は未曾有の大震災の直後に行われた選挙でもありました。私は単なる防災ではなく、日ごろの福祉を充実することで、震災などの非常事態にも負けないまちづくりを訴えました。原発ではなく、地域でまかなえる自然エネルギーへと、市が率先して転換するようがんばります。

また、今まで取り組めて来なかった地域経済の問題に取り組み、大垣市の顔である中心市街地の活性化、そして雇用の拡充など、市民の生活基盤である地域経済をいかに元気にするか、業者や商店街の方々と話し合いながら政策を作り上げていきます。

大垣市議会議員 笹田トヨ子

自民クラブと市議会公明党が統一会派

臨時議会に先立ち、会派届が行われました。自民クラブ（13名）と市議会公明党（2名）が一緒となり15名で構成、市民ネットワーク4名、民主ネットクラブ3名、一人会派は自由民主党大垣市議会1名と日本共産党の笹田です。3名以上の会派で議会運営委員会を構成します。

所属議員次のとおり（敬称省略、得票順）

○自民クラブ・市議会公明党（15名）

田中孝典、日比野芳幸、岩井哲二、高畑 正、石田仁、林新太郎、横山幸司、中田由美子、野村弘、岡本敏美、高橋滋、小川文康、川上孝治、山口和昭、石川真恵

○市民ネットワーク（4名）

岡田正昭、野田紀男、長谷川毅、富田三郎

○民主ネットクラブ（3名）

鈴木陸平、粥川加奈子、丸山新吾

○日本共産党（1名）

笹田トヨ子

○自由民主党大垣市議会（1名）

富田清治

2011年5月10日

大垣市議会議長 様

議会改革等についての申し入れ

日本共産党市議会議員
笹田トヨ子

全国では、議会基本条例を制定するなど、市民に開かれた議会改革が広がっています。ところが当市議会では、テレビ中継もなければ、「議会だより」においても誰がどのような質問をしたのか分からず、また議案についても採択結果のみで、賛成・反対の意見も掲載されません。とても市民に開かれた議会とは言えません。大垣市は「市民参加」とか「市民協働」を掲げていますが、議会に関しては最も遅れた存在になっています。

以下の点について、是非検討されることを要望します。

1. テレビ等による議会中継や「議会だより」の改善など市民に開かれた議会改革の推進
2. 議員の海外視察の廃止
3. 市議会選挙公報の発行

